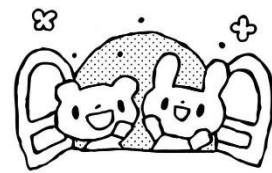


えんだより

キラキラ 11月



2024年11月1日
社会福祉法人尚徳福祉会
保土ヶ谷保育園

やっと秋の風が吹き始めましたね。暑さのためになかなか出られなかった園庭遊びも、思い切りできるようになり、お散歩にもたくさん出かけて、子どもたちもいきいきしています。やはり自然の風・土・葉っぱ・木の実はどんな玩具よりも魅力的なようです。

秋と言えば食欲の秋・・・保土ヶ谷保育園では、食育の活動を多く取り入れています。2歳児では「トウモロコシの皮むき」「玉ねぎの皮むき」などですが、3歳児になるとゼリーの型抜きや、蒸しパンのたねをカップに入れるなどレベルもアップします。4、5歳児になると本格的にクッキングを行い、クッキーやピザを生地から作ったり、うどんを打ったりしています。5歳児は秋の味覚、「さんま」を一人一尾ほぐして食べる経験をします。栄養士がフェルトで作ったさんまを使い、どのように箸を入れていくかを教えてくれるので、とても上手にほぐして食べていました。普段はあまり食べられない食材に触れたり、作ることを経験したりすると、その食材に興味を示し、「食べてみたいな」という気持ちが生まれます。

「ひと口でいいから食べてみよう」「残さず食べよう」という声掛けは子どもにとってプレッシャーになり、食事が辛いことになってしまいます。食事は「楽しく食べること」が、いちばんの目標です。今は嫌いな食材も、いずれ食べられるようになります。様々な経験を通して、楽しみながら食べられるものが増えていったらいいですね。



保土ヶ谷保育園 園長

<アタッチメント（土台）の重要性>

アタッチメントとは、スキンシップとは違い、感情が崩れた時、怖い時、不安な時に、元通りに立て直して、元気になった子の背中を押して元に戻してあげることです。このような関わりを日々行ってあげることで、「自分は愛されている、愛される価値があるんだ、いつも大切にしてもらえる」という気持ちが育ち、これがこれから生きていく上での「土台」となっていきます。この土台がしっかりできていると、将来、勉強や部活を頑張り、社会人としてしっかり働くことができる大人に育っていきます。泣いても放置する、小さいうちから自立を促すなど、アタッチメントが不足すると、常に不安で自信を持ってない、人を信じられない、という大人になってしまいます。土台がしっかりしていなければ、その上にいくら教育を積んでも、積み上げることはできません。乳幼児期が一番重要な時期！子育てと仕事の両立で、毎日大変なことと思いますが、子どもたちの輝かしい未来のために、この「アタッチメント」を頭の片隅に置いてみてくださいね。

👶 今月の予定 👶

- 8日（金）英語
- 13日（水）避難訓練
- 16日（土）地域子育て支援
（入園前のお子さん向けで、英語を行います。是非ご参加ください。在園のきょうだい児も参加できます。）
- 22日（金）英語
- 26日（火）全園児健康診断
- 27日（水）幼児集会
- 29日（金）お楽しみ発表会
リハーサル

※個人面談が始まります。お忙しい中申し訳ありませんがよろしくお願いたします。